



# 【第1部】 話題提供 国立国会図書館デジタルコレクションについて

202X年XX月XX日  
国立国会図書館関西館電子図書館課



 国立国会図書館  
National Diet Library, Japan

1

## 国立国会図書館とは



遠隔複写

レファレンス

研修事業

依頼調査

- 国会活動の補佐
- 資料・情報の収集・保存
- 情報資源の利用提供

デジタル化

web収集

資料保存

 894人

 4600万点

↑73万点/年

2

2

# 3つの国立国会図書館



## 東京本館

国会向けのサービスや来館サービスを提供、3施設の統括  
 収蔵能力  
 本館書庫：450万冊  
 新館書庫：750万冊  
 閲覧スペース  
 18,983㎡/1533席



## 関西館

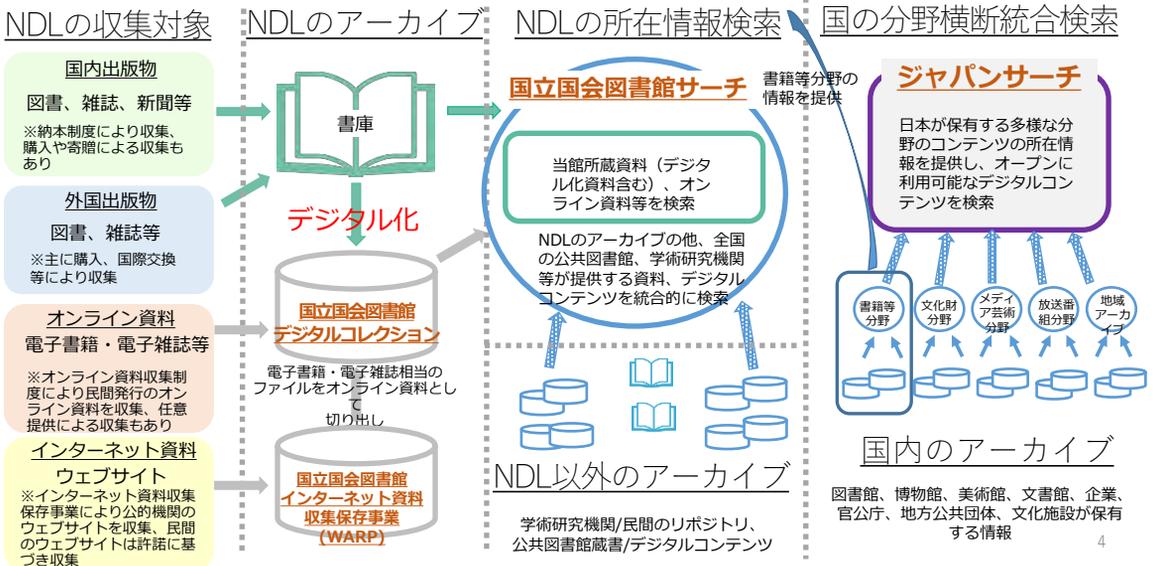
遠隔サービスの拠点、来館サービスの提供  
 収蔵能力  
 本館書庫：600万冊  
 書庫棟：500万冊  
 閲覧スペース  
 4,265㎡/358席



## 国際子ども図書館

児童書の専門図書館  
 収蔵能力  
 レンガ棟：40万冊  
 アーチ棟：65万冊  
 閲覧スペース  
 2,054㎡/162席

# デジタルアーカイブの繋がり



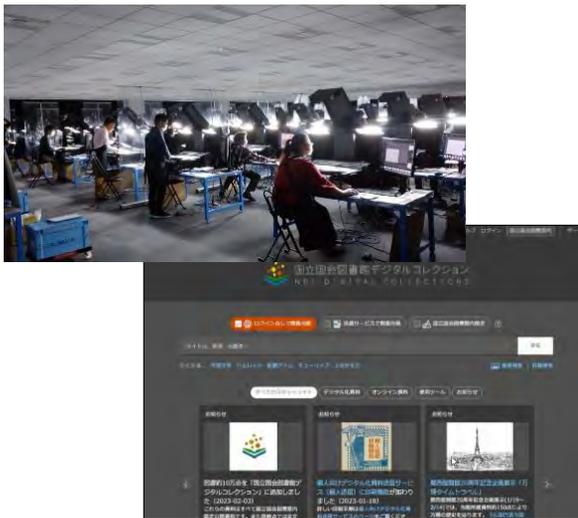
## この1年の動き

- 2022.5.19 個人向けデジタル化資料送信サービス開始
- 2022.5.30 約30万点の図書を国立国会図書館デジタルコレクションに追加（館内限定公開）
- 2022.6.1 オンライン資料の収集に関する国立国会図書館法の一部改正
- 2022.12.21 国立国会図書館デジタルコレクションリニューアル
- 2023.1.1 有償等オンライン資料の制度収集の開始
- 2023.1.18 個人向けデジタル化資料送信サービスの印刷機能追加
- 2023.2～3. 約30万点の図書を国立国会図書館デジタルコレクションに追加（館内限定公開）
- 2023.2.28 約32万点の図書、雑誌等を図書館・個人送信に切替え
- 2023.6.28 新聞を国立国会図書館デジタルコレクションに追加（館内限定公開）

5

5

## デジタル化の加速



デジタル化資料（2024.2.1現在）

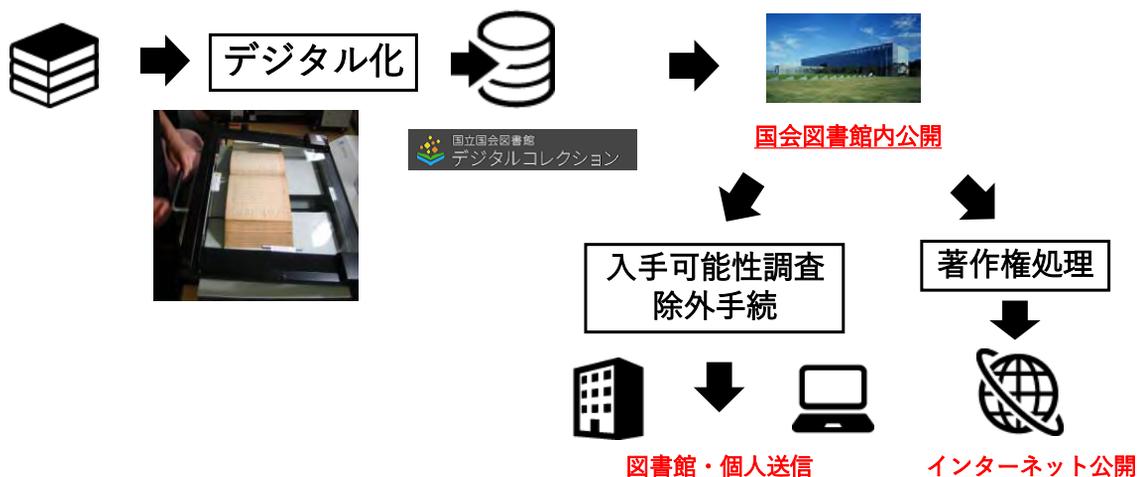
364万点

うちインターネット公開	61万点
図書館／個人送信	180万点
館内限定	123万点

6

6

# デジタル化～公開のプロセス



7

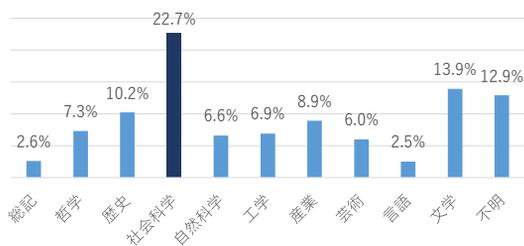
7

# デジタル化資料のOCRテキスト化

全文検索可能な資料(2022年12月～)

種別	内容	点数 (概数)
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>1968年までに受け入れた図書</li> <li>震災・災害関係資料の一部 (1969年以降受入分も含む)</li> </ul>	97万点
雑誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治期以降に刊行された雑誌</li> </ul>	133万点
博士論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>1988年(一部)～2000年に送付を受けた論文</li> </ul>	15万点
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>官報</li> <li>脚本 等</li> </ul>	2万点
計		247万点

図書の分類別内訳



2021年以降にデジタル化した資料については、2024年1月からテキストデータを作成中

8

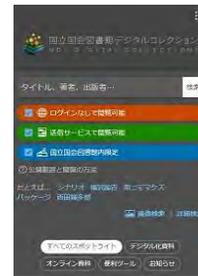
8

# トップページ

ダークモード



ライトモード



スマートフォン用

# 検索結果一覧画面①

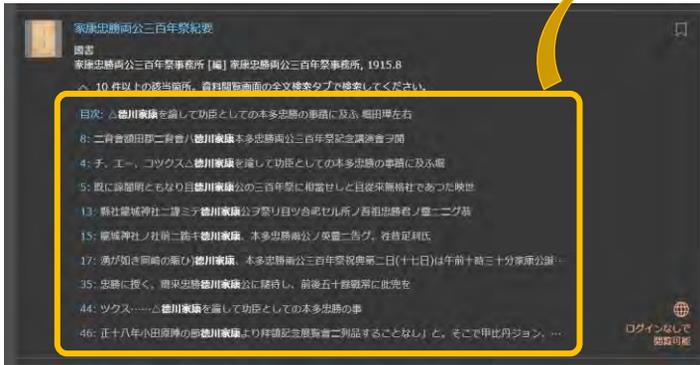


インターネット公開

図書館・個人送信資料

国立国会図書館内限定

## 検索結果一覧画面②



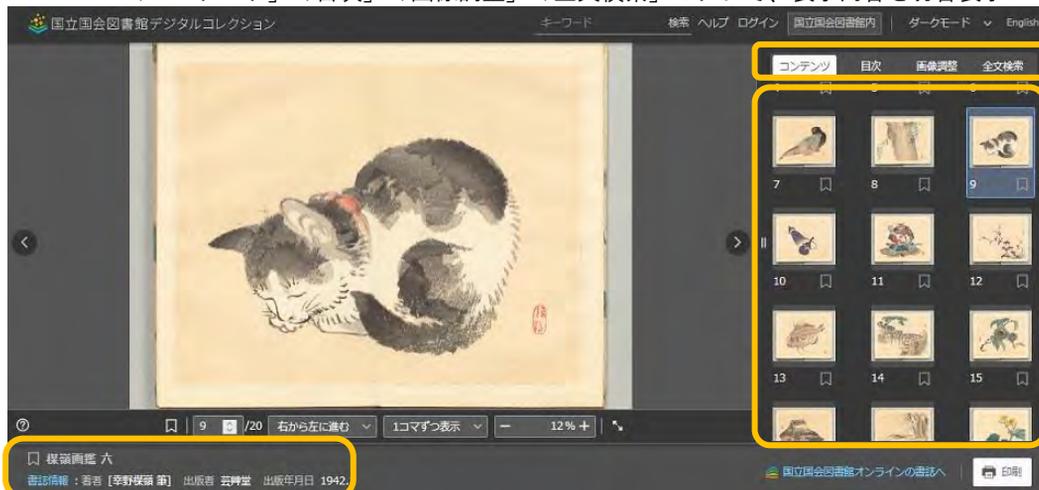
- 書誌情報、目次、本文テキストのうち、検索語と一致した部分を**スニペット表示**。クリックすると該当コマに遷移可能。
- **資料の公開範囲にかかわらず**、検索結果をインターネットで表示
- **短歌・俳句等の極めて短い著作物、名簿類（個人情報）等の法令に抵触するおそれのあるもの等**、一定の要件に合致する資料は、予め又は求めに応じて随時、スニペット表示対象から除く。
- 検索語の長さは90文字まで
- 1コマ（概ね見開き2頁）の文字数の1/16 又は100文字の小さい方を表示
- **1コマあたり1か所、1冊あたり10か所**まで表示

11

11

## 閲覧画面①コンテンツタブ

「コンテンツ」「目次」「画像調整」「全文検索」のタブで、表示内容を切替表示



書誌情報（タイトル、著者、出版年等）

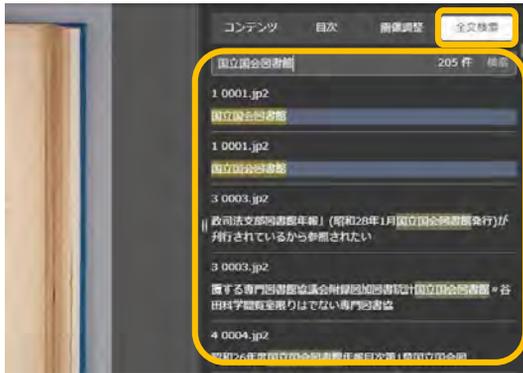
「コンテンツ」タブでは、サムネイル（大きさ変更可能）を表示

12

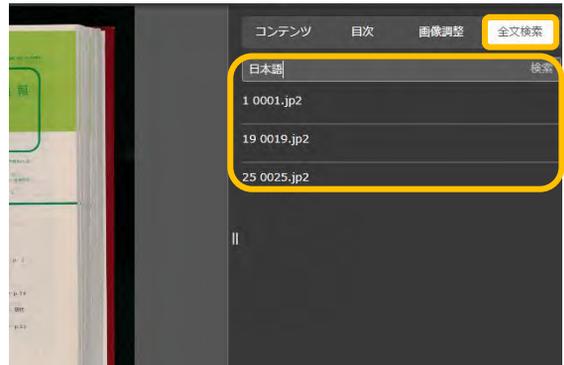
12

## 閲覧画面②全文検索タブ

「全文検索」タブでは、表示中の資料の本文テキスト検索が可能。  
公開範囲の関係で資料が表示されない場合は、本文テキスト検索もできない。



著作権保護期間満了のインターネット公開資料のみスニペット表示される。  
検索結果一覧画面と同じく、1コマ（概ね見開き2頁）の文字数の1/16又は100文字の小さい方を表示。  
スニペット件数には制限なし。



それ以外の資料はコマ番号のみ表示される。  
コマ番号をクリックすると、当該コマに遷移する。

13

13

## 画像検索

インターネット公開（保護期間満了）の図書・古典籍約35万点の中から、「似ている画像」（図、挿絵、写真等）を検索できる。

画像検索

持っている画像ファイルを使って検索

ここに画像をドラッグ&ドロップ

ファイルを選択

ウェブ上の画像を使って検索

https://website/image.jpg

末尾が .jpg .png .bmp のURLを入力してください。

デジタルコレクションの画像を使って検索

デジタルコレクションの画像を使って検索することも可能

端末に保存している画像をドラッグ&ドロップ

ウェブ上の画像のURLを入力

14

14



## 【第2部】 情報交換

202X年XX月XX日  
国立国会図書館関西館電子図書館課



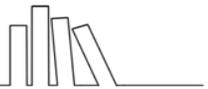
 国立国会図書館  
National Diet Library, Japan

15



## ■ introduction① ■

情報交換って何？



16

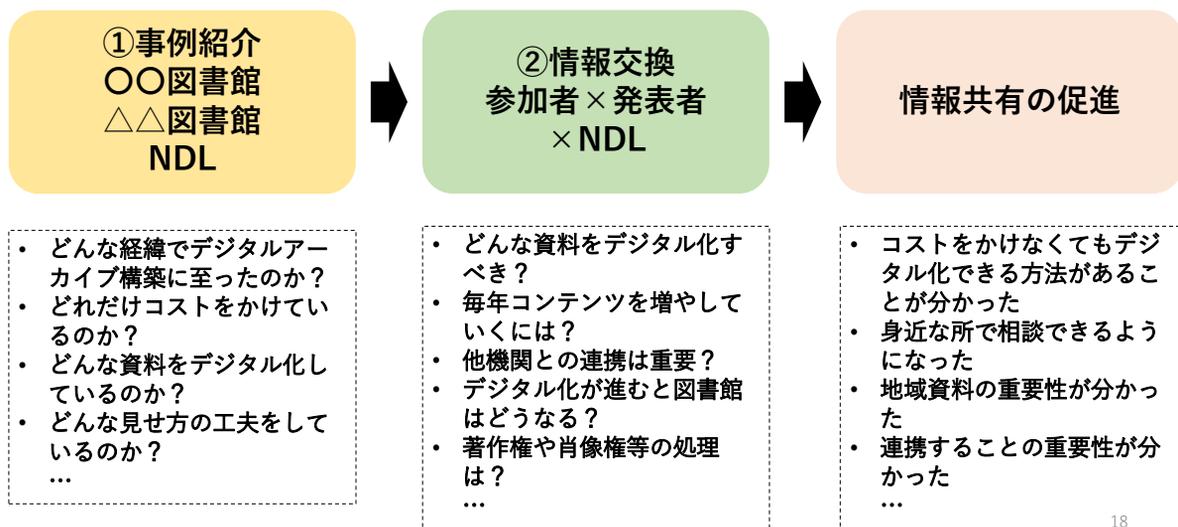
# デジタル化 + デジタルアーカイブ + 連携



17

17

# 解決策は身近な所にあるかも…



18

18



## ■introduction②■



### 様々なデジタルアーカイブ (県内外の事例)



19

## 〇〇県内図書館のデジタルアーカイブ事情

- 自前で構築（県立、A市、B町）／ADEAC活用（C市）  
／TRC-DL活用（D市）／ジャパンサーチ連携（県立、  
A市）の各事例が県内で豊富
- 郷土資料のデジタル化が運営方針や事業計画等で明記  
（県立）
- 地域新聞のデジタル化を実施（E市）

20

20

## ①自館で構築

- 信州デジタルコモンズ
- 埼玉県（県立図書館）
- 大分市デジタルアーカイブ
- 関ヶ原収蔵品データベース



21

21

## ②自館のHPに掲載

五所川原市立図書館デジタルアーカイブ

五所川原町報

デジタル化資料

創刊号～第30号

- 第15号（昭和27年4月20日） 2880KB
- 第2号（昭和27年5月14日） 2869KB
- 第3号（昭和27年6月12日） 5021KB
- 第4号（昭和27年7月15日） 2955KB
- 第5号（昭和27年8月15日） 2833KB

<https://www.city.goshogawara.lg.jp/lib/document/digital.html>



22

22

### ③民間サービスを活用



23

23

### ④他機関と連携 (NDL)



24

24

## 選択肢が増えるのはよいこと

- ✓ 何とかデジタル化は自前でできるけれど、デジタルアーカイブ構築までは難しいなあ…
- ✓ HP掲載するストレージの容量がひっ迫してきた…
- ✓ 著作権の問題があるので、できれば個人送信等で活用してもらいたいなあ…
- ✓ 自館だけでなく、コンテンツを広く活用してもらいたいなあ…



25

25

## ■ その他（時間があれば...） ■

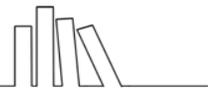


- なぜデジタル化するのだろうか？
- 何をデジタル化するのがよいのだろうか？
- デジタルデータの保存はどうする？
- 著作権や肖像権はどう関わる？

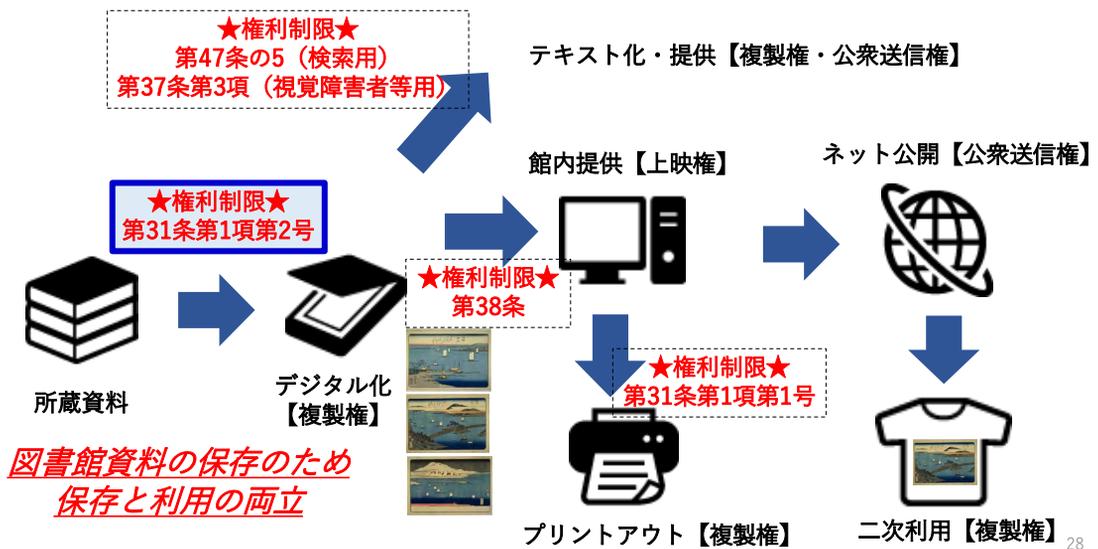
26



# なぜデジタル化するのだろう？



## 著作権法上の論点



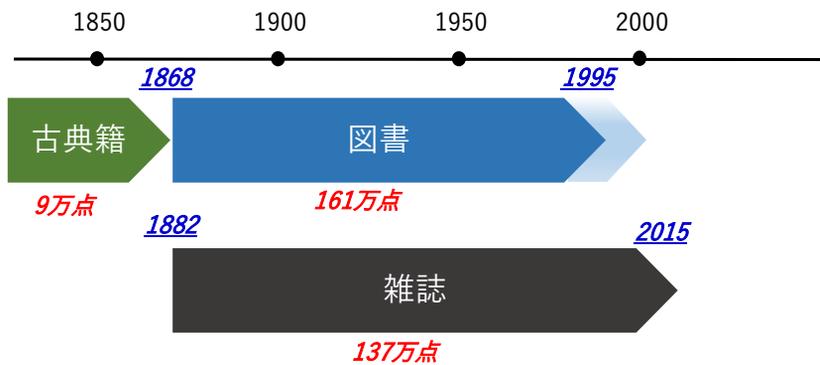


何をデジタル化するとよいのだろうか？



29

## NDLデジタル化の状況



30

30

## ●●県立図書館×NDLの所蔵重複

著者・編者 = 「●●県」の図書



31

31

## ポイント

デジタル化の候補となるのは…

- ①長期に保存する必要のある資料
- ②著作権等の法的に問題がない資料
- ③他の図書館に所蔵がない資料

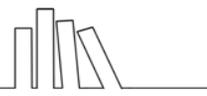
⇒「古い資料」「郷土資料」「行政資料」等が焦点になる？

32

32

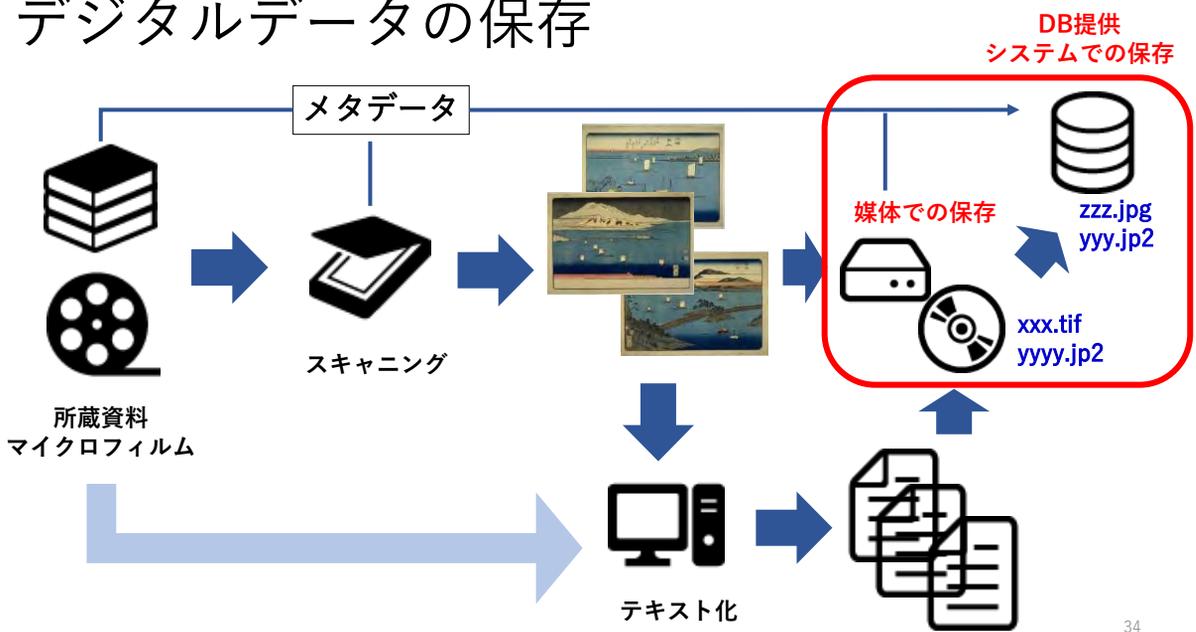


# デジタルデータの保存はどうする？



33

## デジタルデータの保存



34

## 媒体での保存

### ■ハードディスク（HDD）

HDD単体では耐障害性に難があるので、通常はRAID等の手法で複数組み合わせ、壊れたものを順次交換するという運用をする

### ■LTO等の磁気テープ

ランダムアクセスはHDDより低速だが、運用面含めた長期的なデータ保存のコストはHDDより低いとされているため、データのバックアップ用媒体として広く用いられている

### ■光ディスク（DVD-R、BD-R等）

1枚で300GB保存できるような規格も出てきている。適切に運用すれば、長期的なデータ保存のコストはHDDより低いとされている

35

35

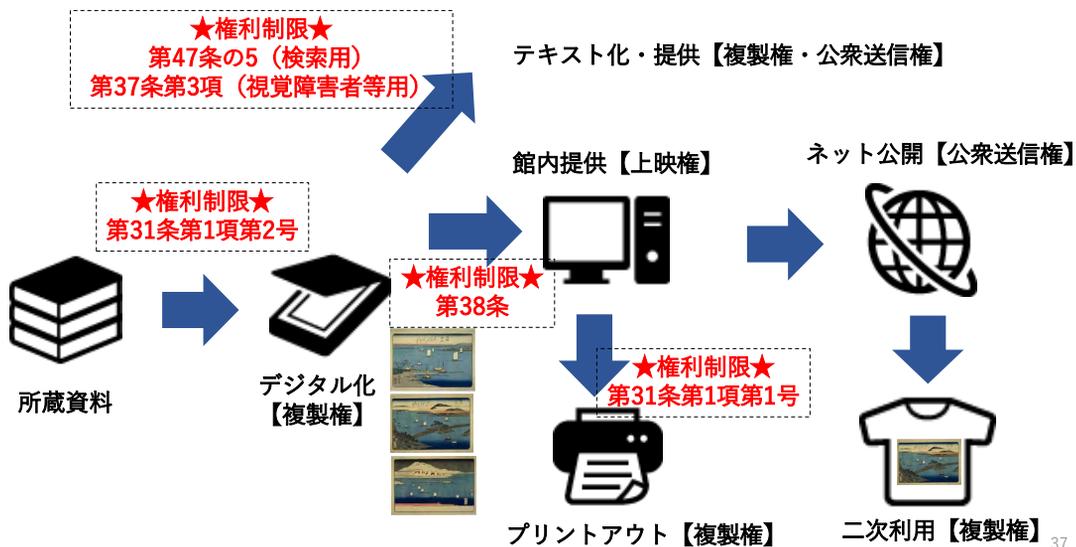


著作権や肖像権はどう関わる？



36

## 著作権法上の論点（再掲）



37

## 著作権以外の論点

- まだ売られている本だったら？
- 寄託された資料の場合は？
- 名簿等が含まれていた場合は？
- 差別表現が含まれている場合は？
- 写真の肖像権は？

38

38